

最近の金融経済情勢と金融政策運営

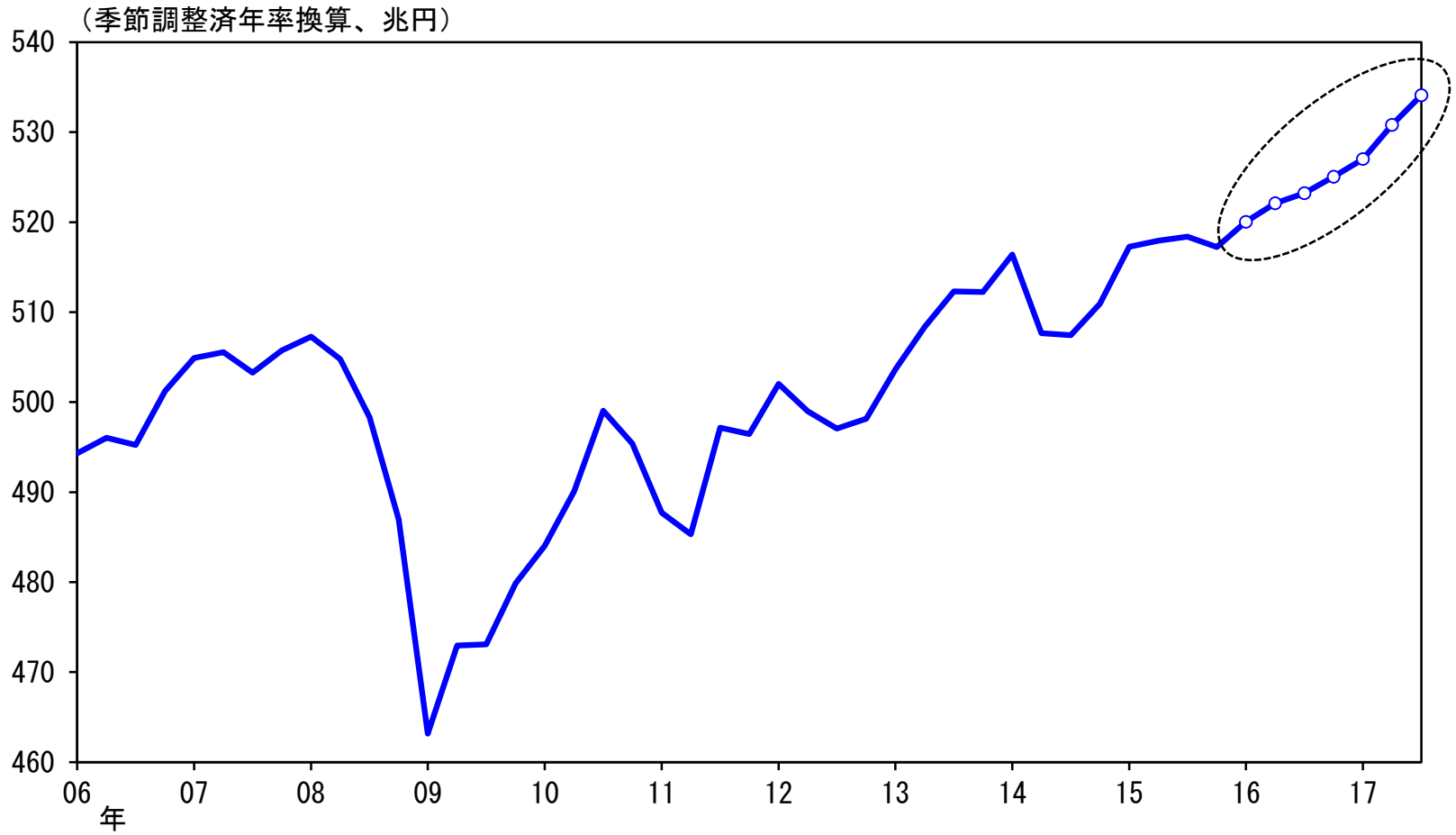
— 大分県金融経済懇談会における挨拶 —

2018年1月31日

日本銀行副総裁

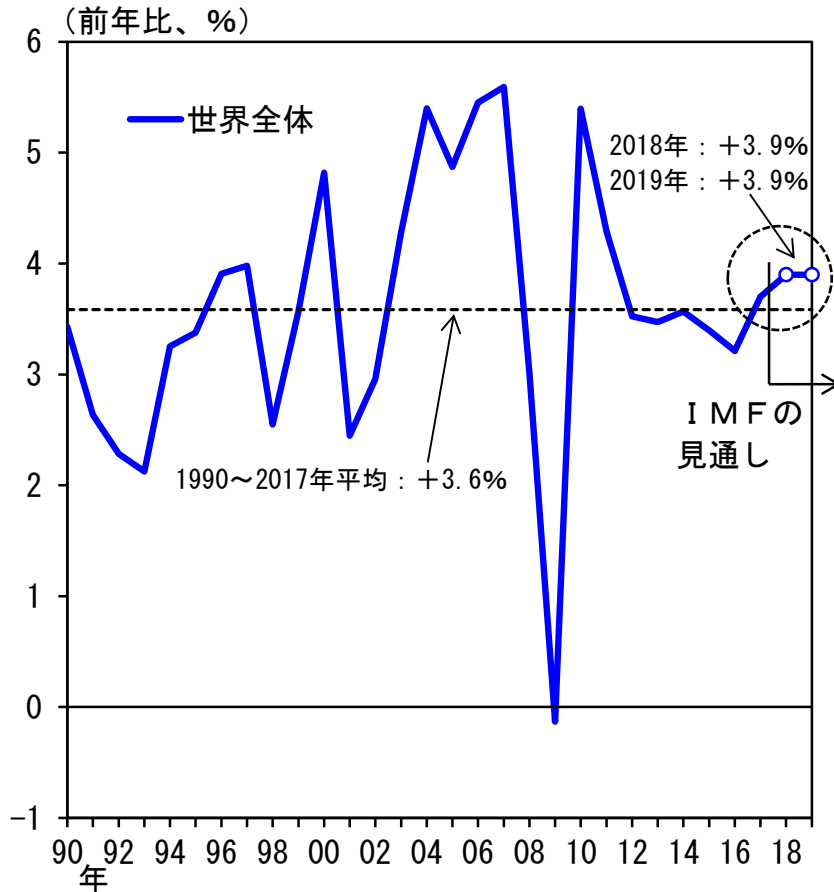
岩田 規久男

実質 GDP



世界経済

世界経済の成長率推移



地域別の成長率見通し (18/1月)

(前年比、%、%ポイント)

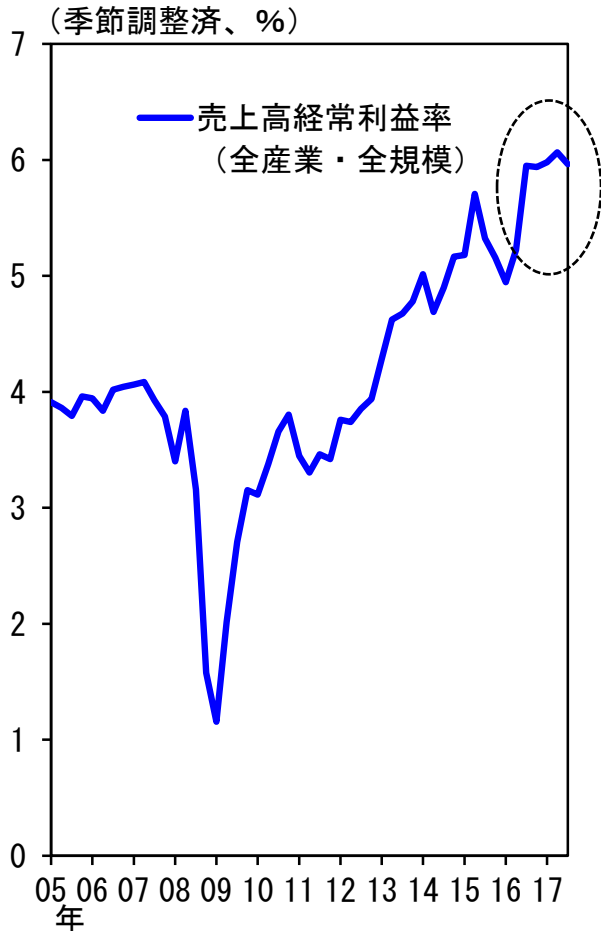
	2016年	2017年	2018年 [見通し]	2019年 [見通し]
世界	3.2	3.7	3.9 (+0.2)	3.9 (+0.2)
先進国	1.7	2.3	2.3 (+0.3)	2.2 (+0.4)
米国	1.5	2.3	2.7 (+0.4)	2.5 (+0.6)
ユーロエリア	1.8	2.4	2.2 (+0.3)	2.0 (+0.3)
日本	0.9	1.8	1.2 (+0.5)	0.9 (+0.1)
新興国・途上国	4.4	4.7	4.9 (0.0)	5.0 (0.0)
中国	6.7	6.8	6.6 (+0.1)	6.4 (+0.1)
ASEAN5	4.9	5.3	5.3 (+0.1)	5.3 (0.0)

(注) 2017年は、推計値。右図の括弧内は、前回見通し(17/10月時点)からの改定幅。

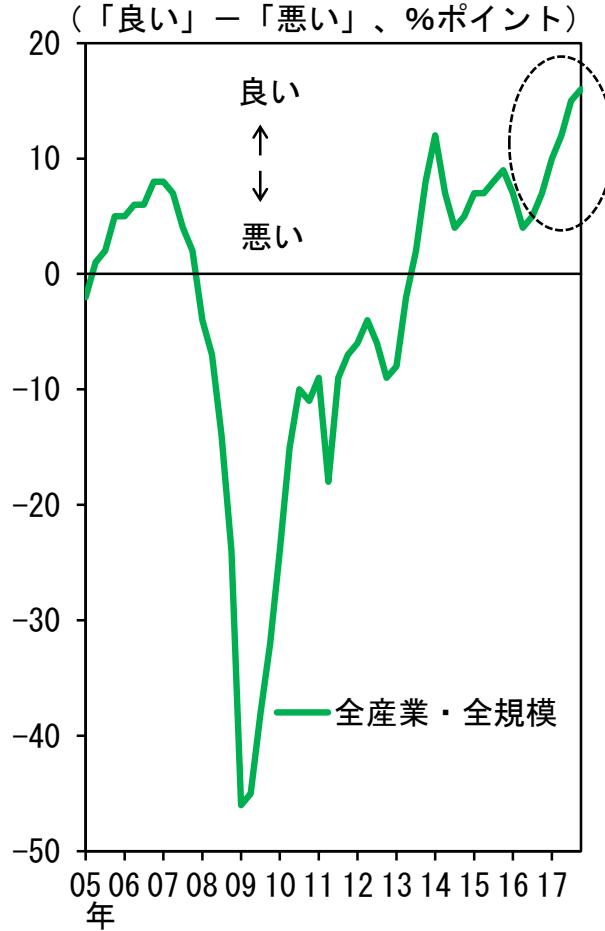
(出所) IMF

日本経済

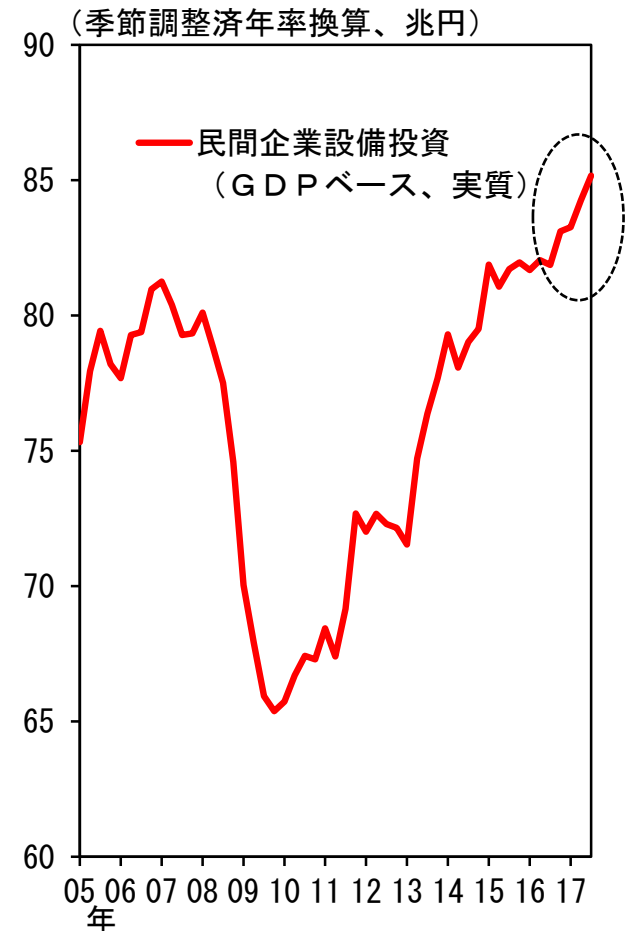
企業収益



業況判断DI (短観)



設備投資

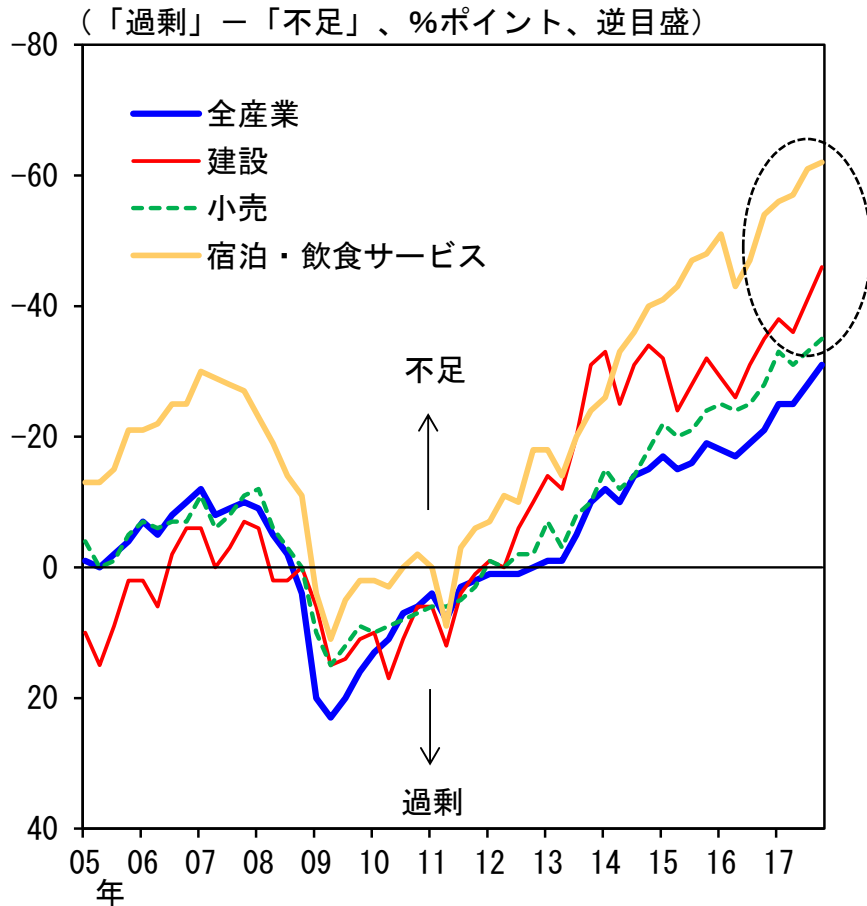


(注) 企業収益は、法人季報ベース。金融業・保険業を除く。

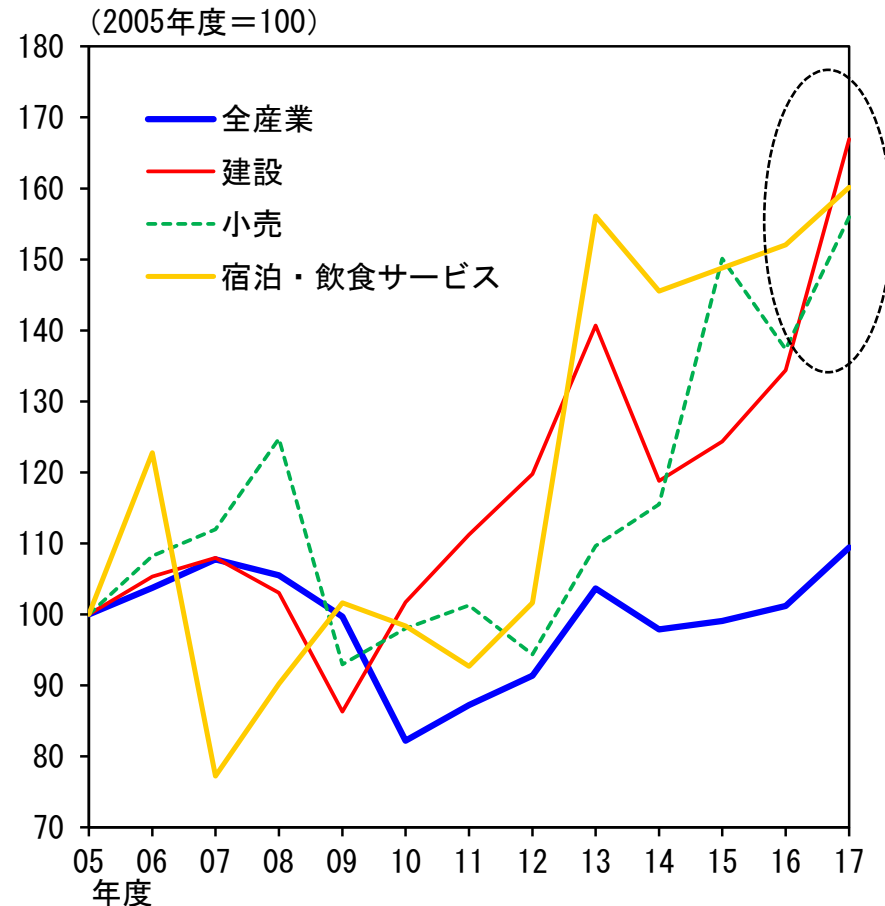
(出所) 財務省、日本銀行、内閣府

労働需給とソフトウェア投資

雇用人員判断DI (短観)



ソフトウェア投資額 (短観)

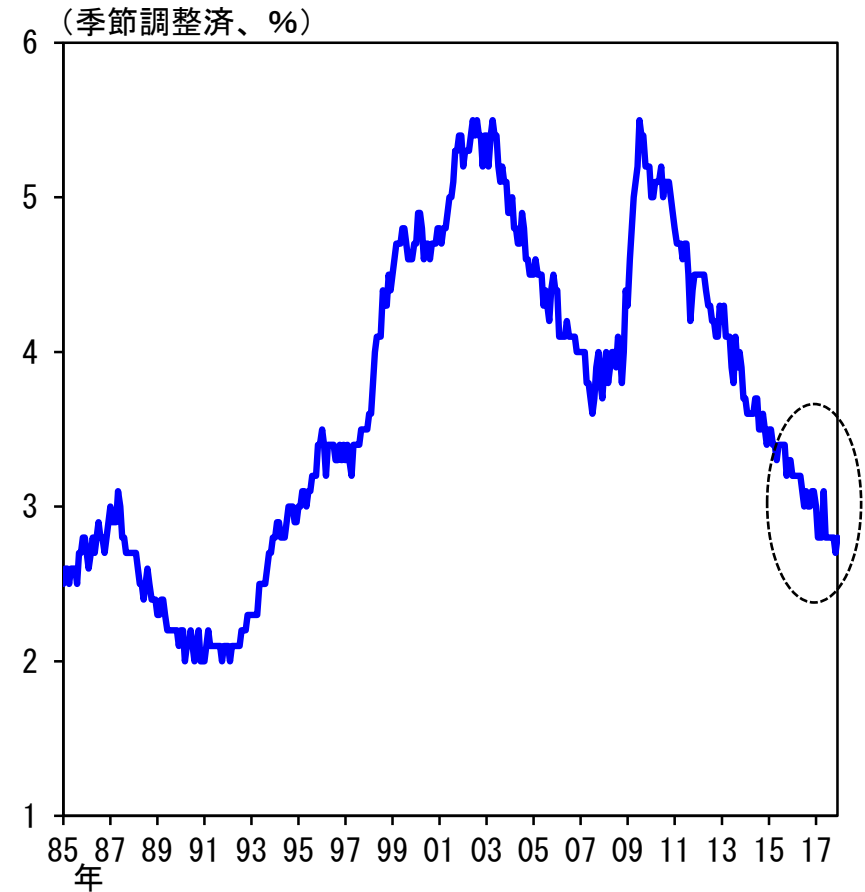
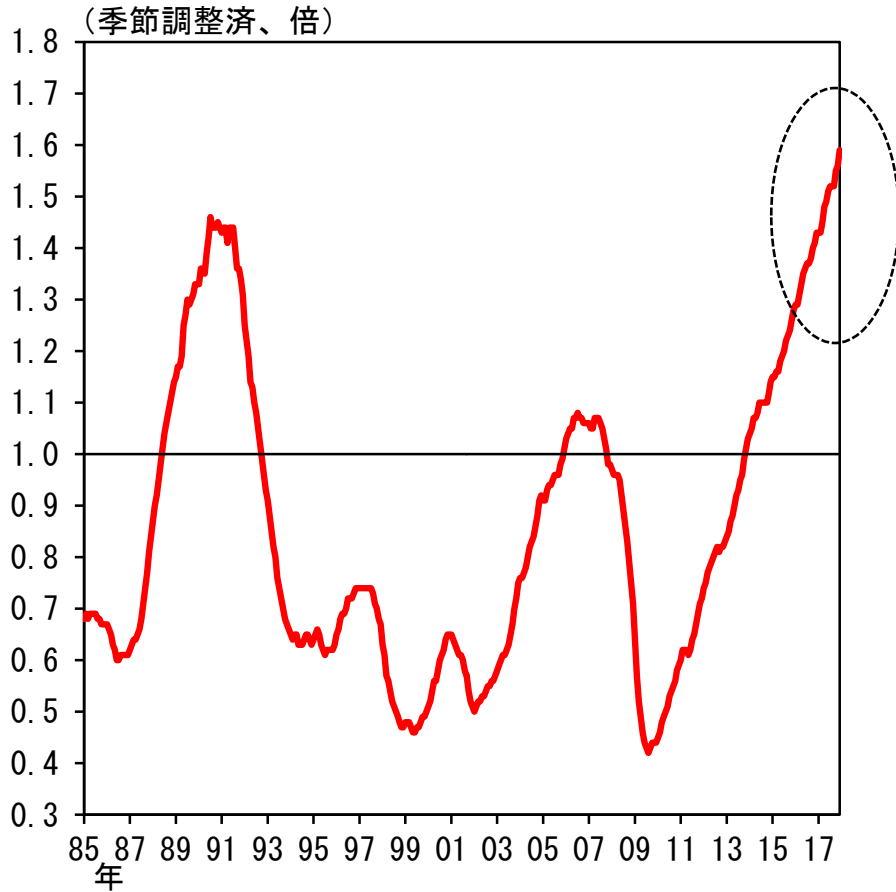


(注) ソフトウェア投資額の2017年度は、2017/12月時点の計画。
 (出所) 日本銀行

雇用環境

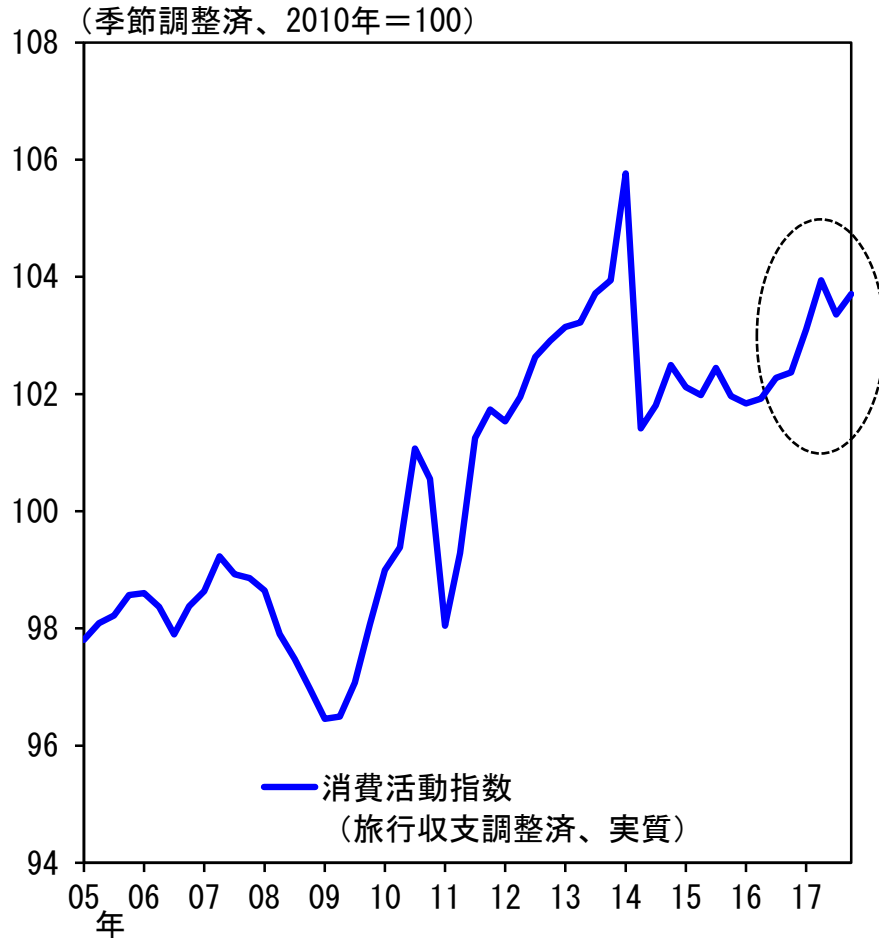
有効求人倍率

失業率

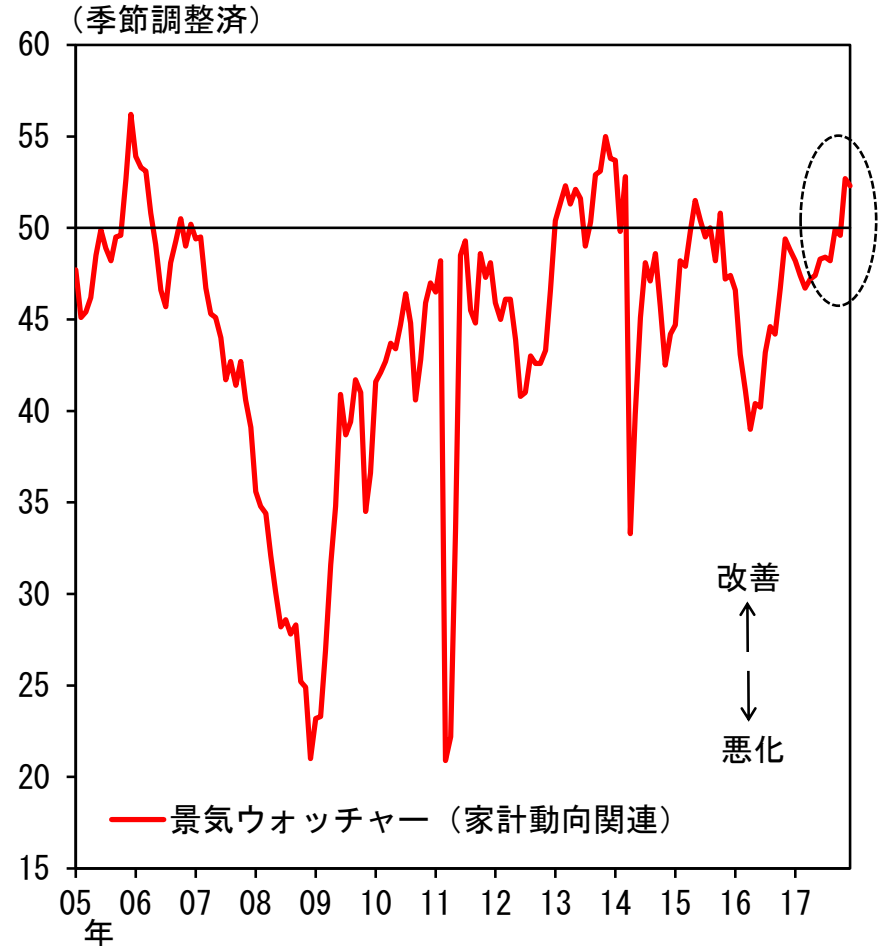


個人消費

消費活動指数



マインド指標



(注) 1. 消費活動指数は、除くインバウンド消費・含むアウトバウンド消費 (日本銀行スタッフ算出)。2017/4Qは、10~11月の値。

2. 景気ウォッチャーは、景気の現状判断DI。

(出所) 日本銀行、内閣府

展望レポートの経済・物価見通し (2018年1月)

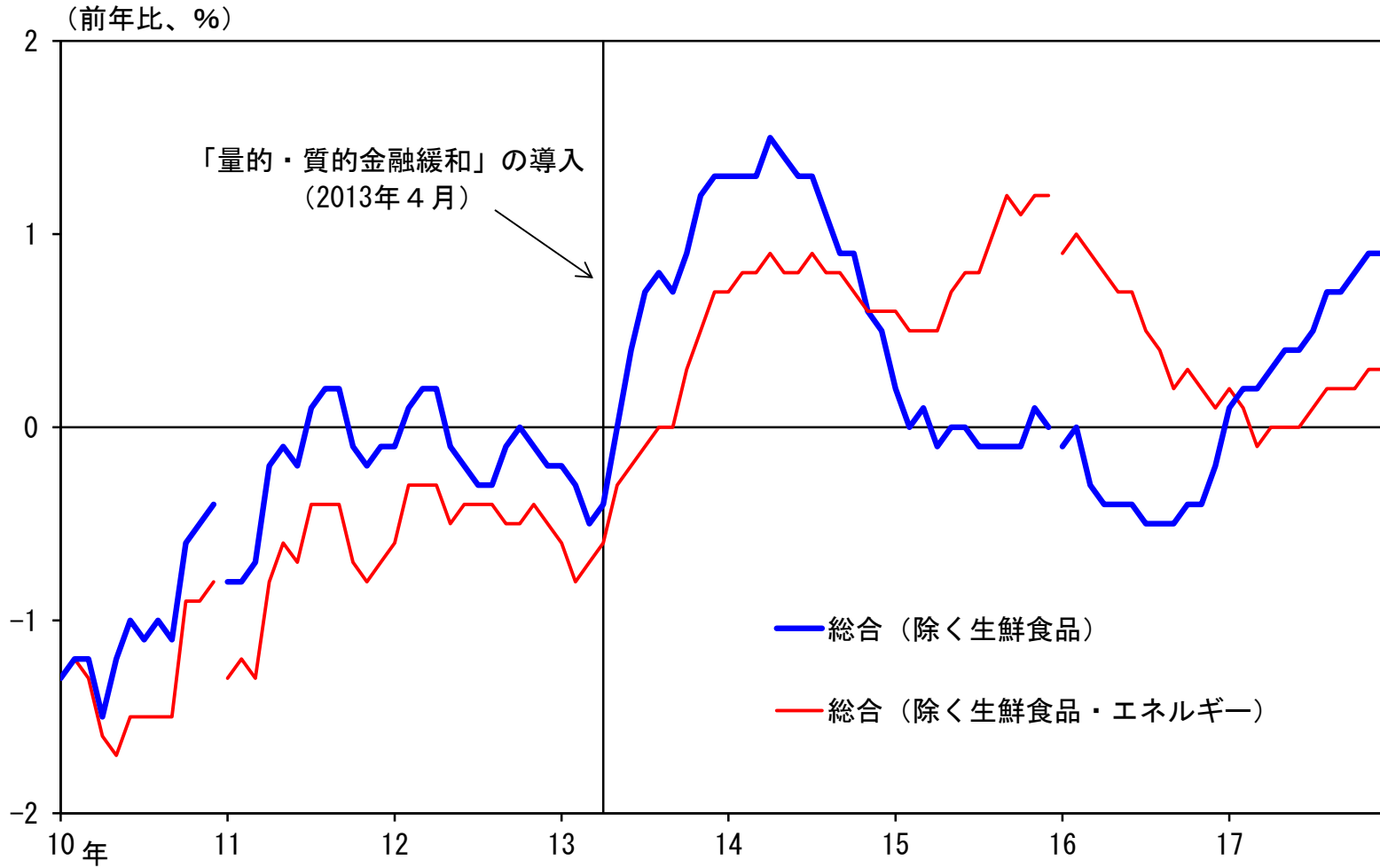
— 政策委員見通しの中央値、対前年度比、%

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2017年度	+1.9	+0.8
(10月の見通し)	+1.9	+0.8
2018年度	+1.4	+1.4
(10月の見通し)	+1.4	+1.4
2019年度	+0.7	+1.8
(10月の見通し)	+0.7	+1.8

(注) 消費者物価指数 (除く生鮮食品) は、消費税率引き上げの影響を除いたベース。

(出所) 日本銀行

消費者物価

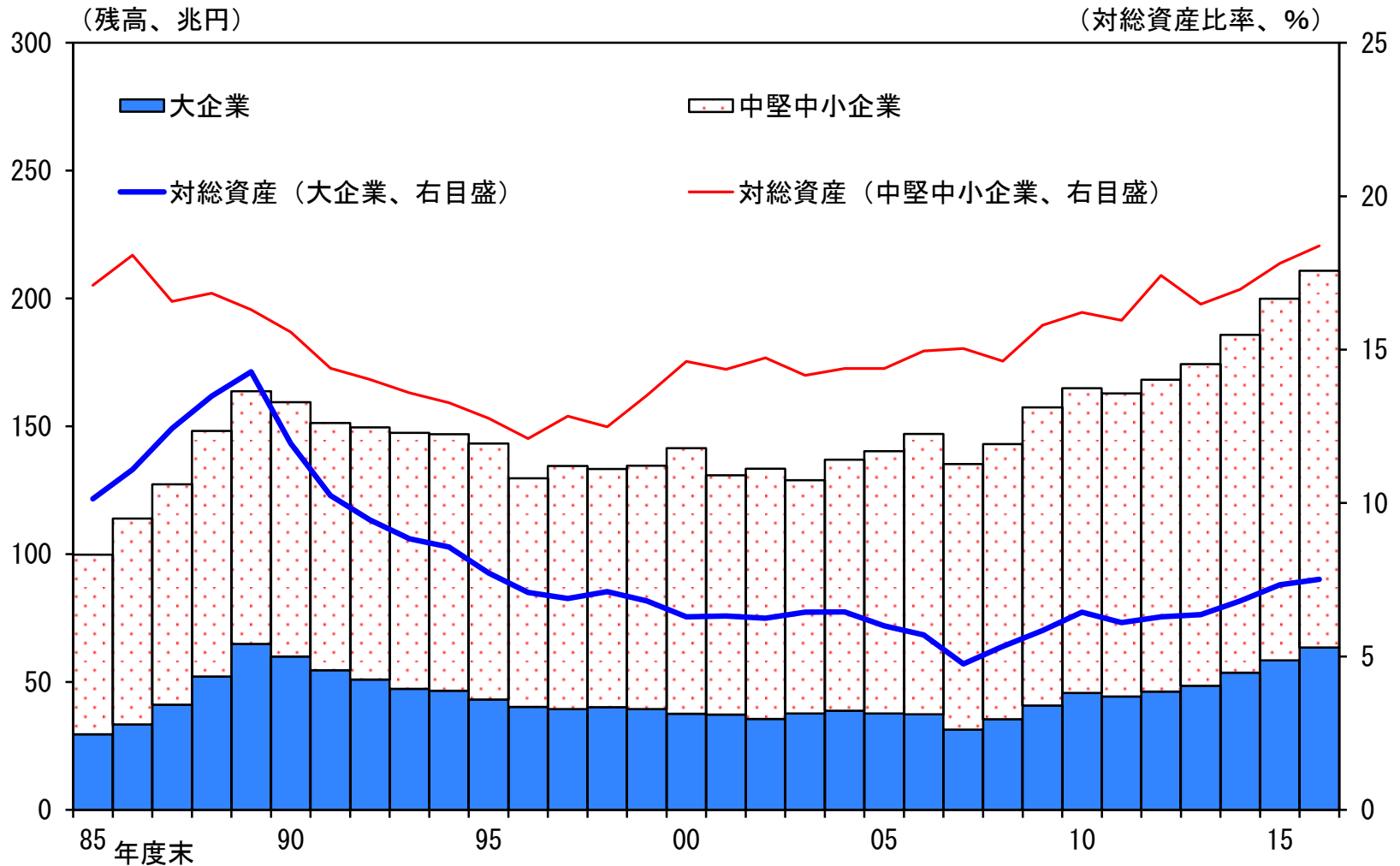


(注) 消費税調整済み。

(出所) 総務省

企業貯蓄

企業規模別にみた現預金



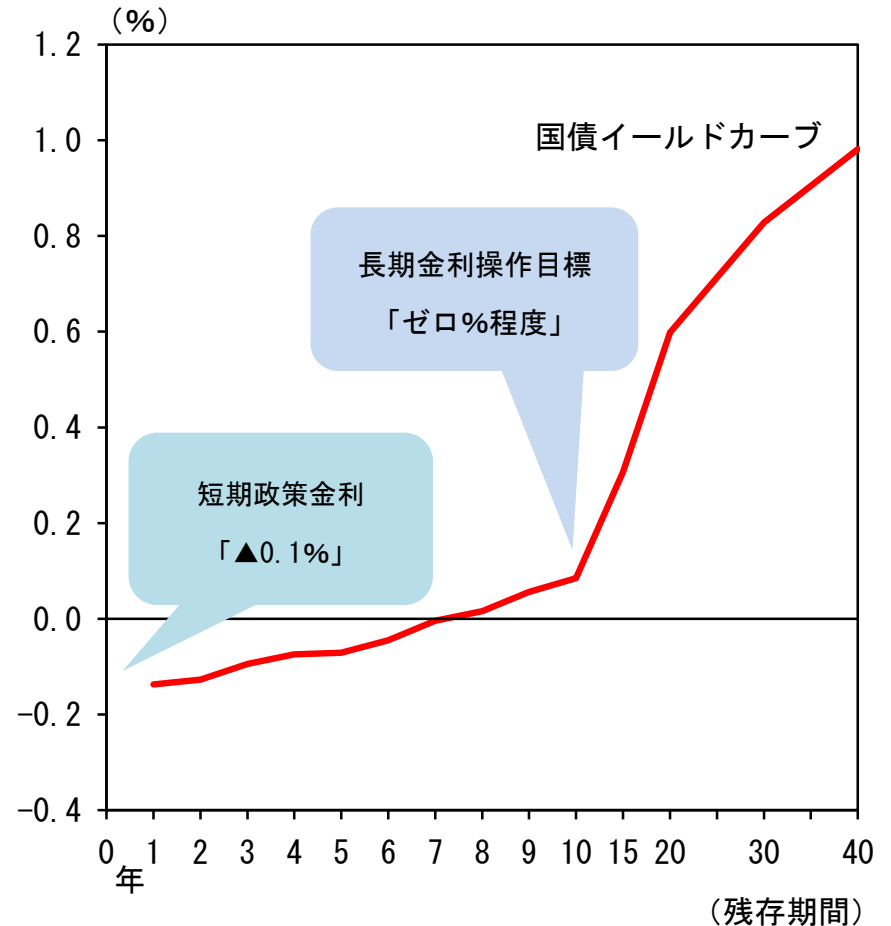
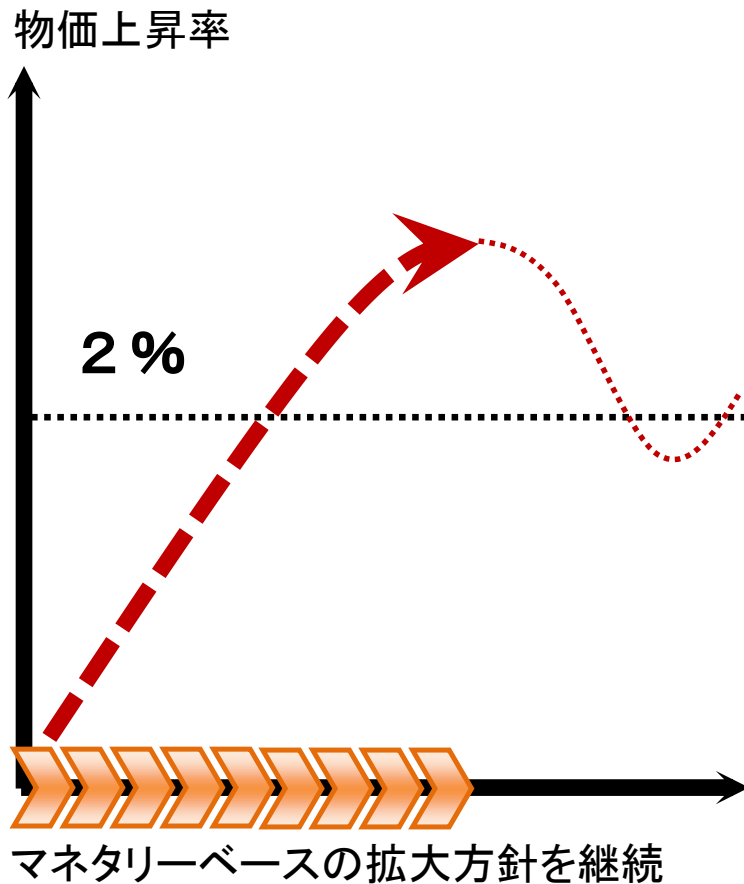
(注) 法人年報ベース。金融業、保険業を除く。大企業：資本金10億円以上、中堅中小企業：同10億円未満。

(出所) 財務省

長短金利操作付き量的・質的金融緩和

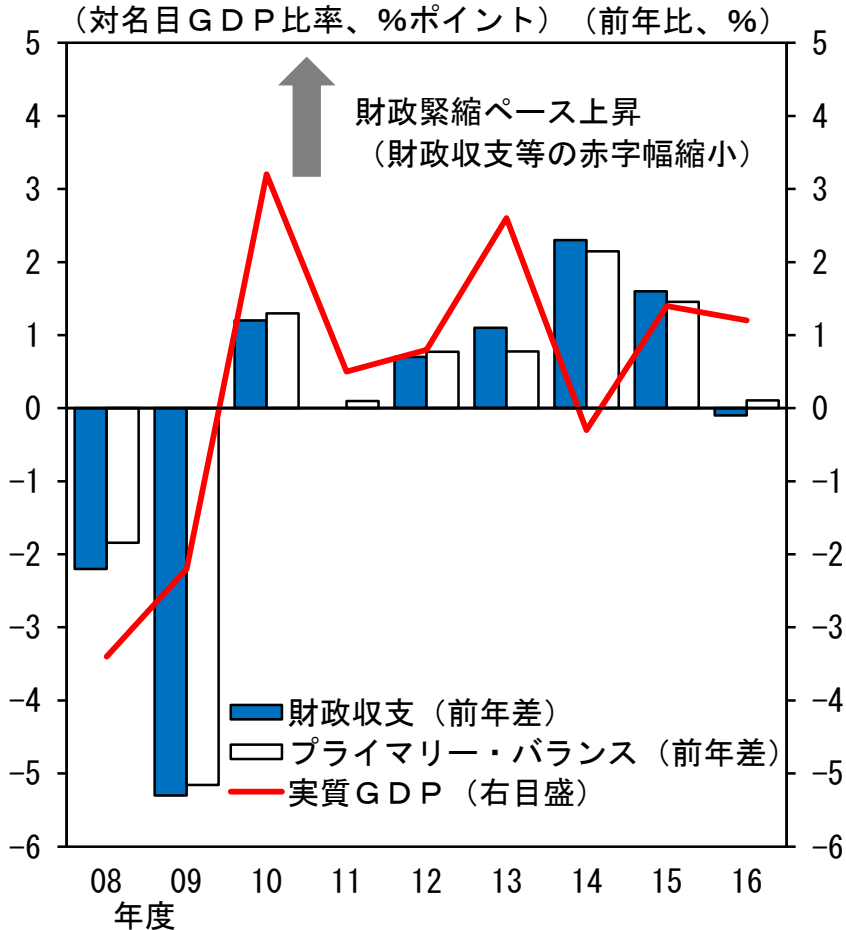
オーバーシュート型コミットメント

イールドカーブ・コントロール

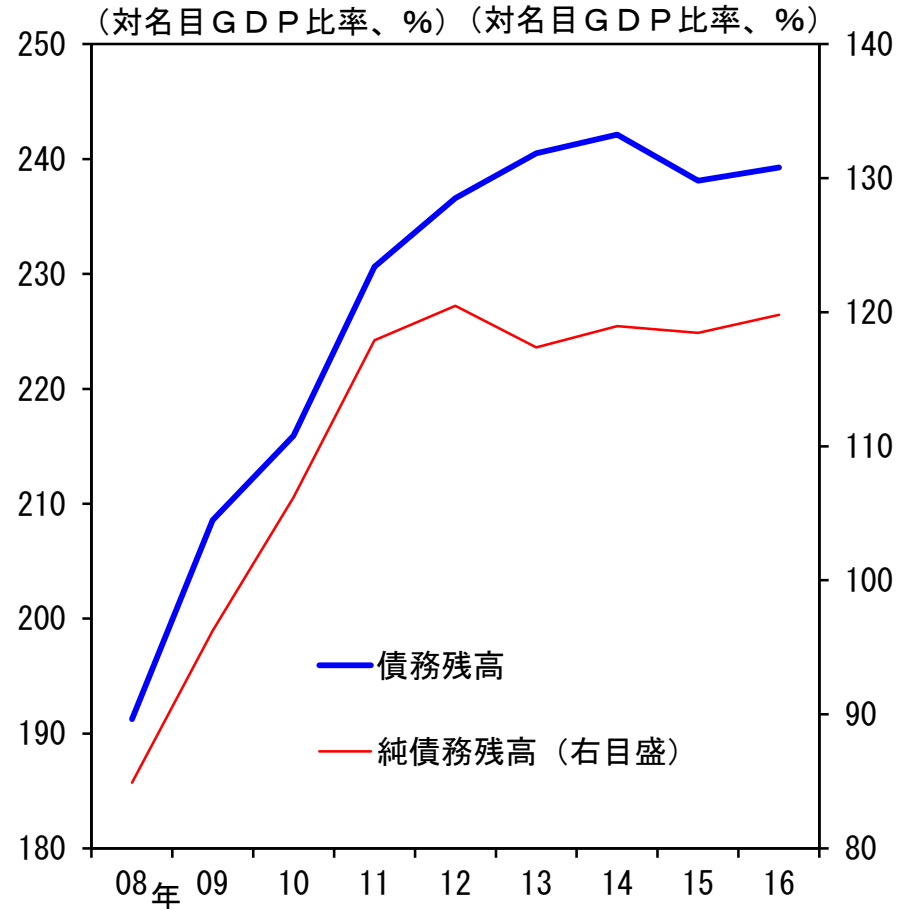


日本の財政状況

財政収支等



政府債務残高

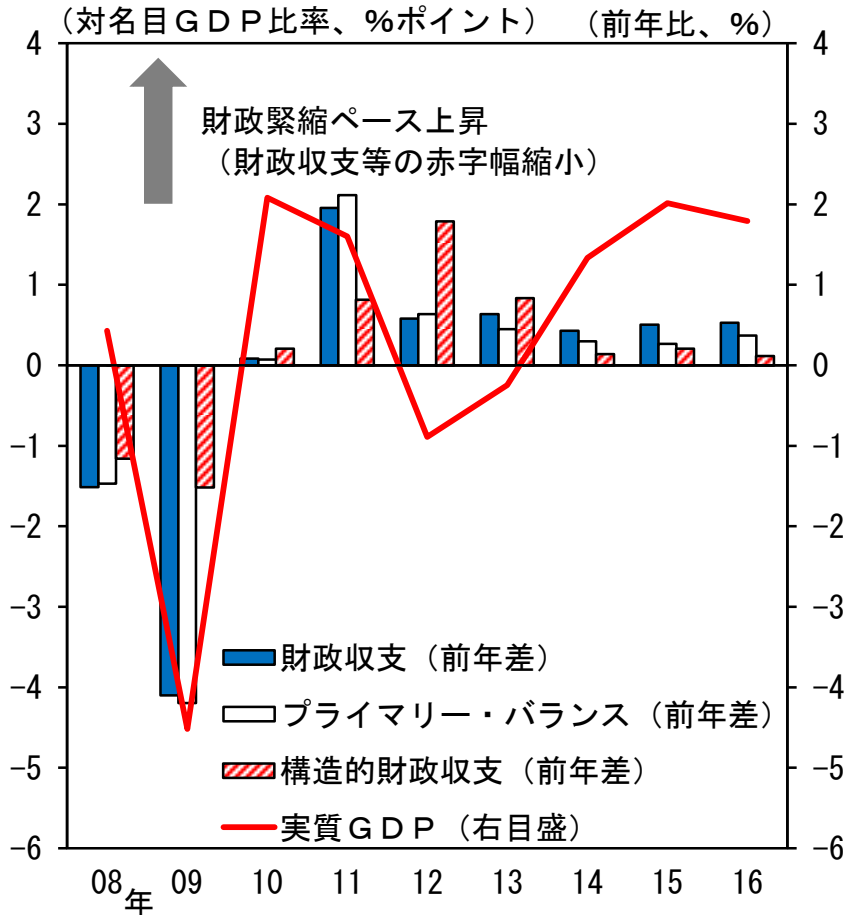


(注) プライマリー・バランスは、日本銀行スタッフ算出。特殊要因調整済。

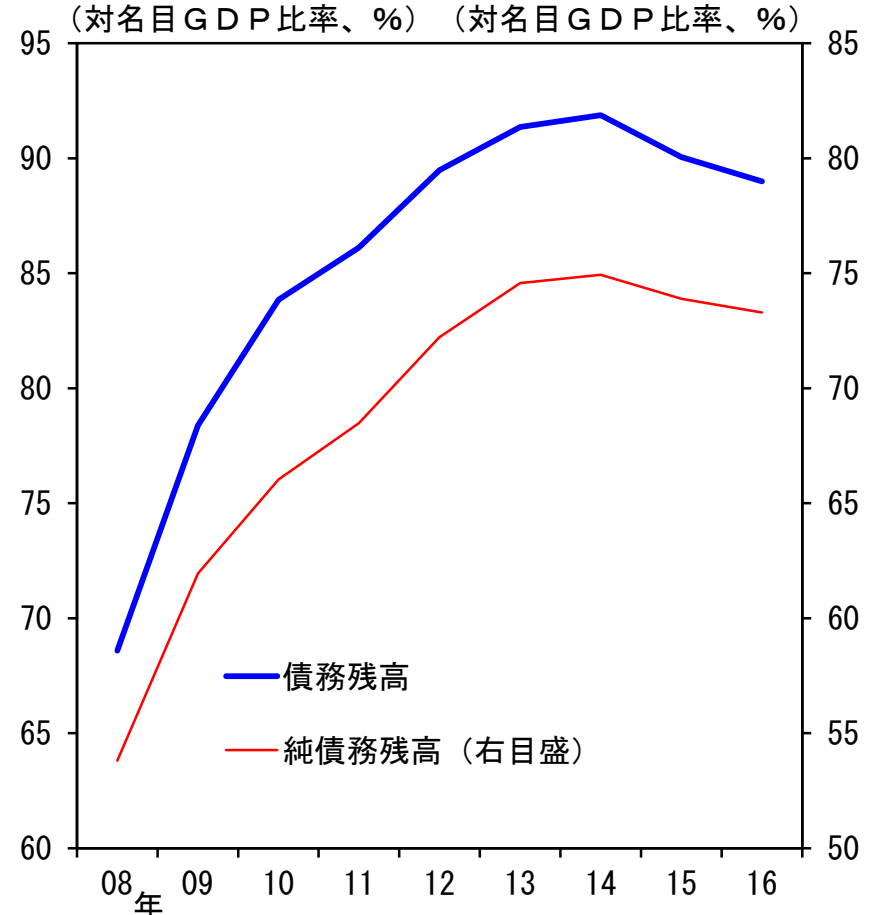
(出所) 内閣府、IMF等

ユーロ圏の財政状況

財政収支等



政府債務残高



(注) 構造的財政収支は、潜在GDP対比の値。

(出所) IMF